



4/1 珠洲市出張子ども食堂 4/2 珠洲市避難所炊出し 4/3 市内避難者買い物支援 4/4 珠洲市避難所物資支援 4/5 三道山子ども食堂



4/7 市内避難者パントリー 4/8 粟生小学校入学式 4/8 寺井中学校入学式 4/8 寺井高校入学式



4/9 珠洲市避難所物資支援 4/10 市内避難者動物園遠足 4/13 根上地域更正保護女性会 防災講演 4/13 亀田ゆたか県政報告会



4/14 石川県21ネットワーク防災講演 4/16 珠洲市避難所物資支援 4/17 市内避難者「じんのびカフェ」 4/19 石子町いきいきサロン ミニ運動会



4/19 三道山子ども食堂 4/21 珠洲市避難所炊出し 4/23 珠洲市避難所物資支援 4/24 市赤十字奉仕団総会



4/25 県赤十字奉仕団総会 4/29 市内避難者パントリー 4/30 珠洲市避難所物資支援 4/30 珠洲市避難所ヘアカット&ハンドケア



5/3 絵付け体験 5/5 珠洲市避難所炊出し 5/7 珠洲市避難所物資支援 5/8 九谷町老人会防災講演



5/10 三道山子ども食堂学習支援 5/14 珠洲市避難所物資支援 5/15 市内避難者じんのびカフェ 5/16 珠洲市避難所炊出し 5/17 三道山子ども食堂

思いが叶う能美市に！

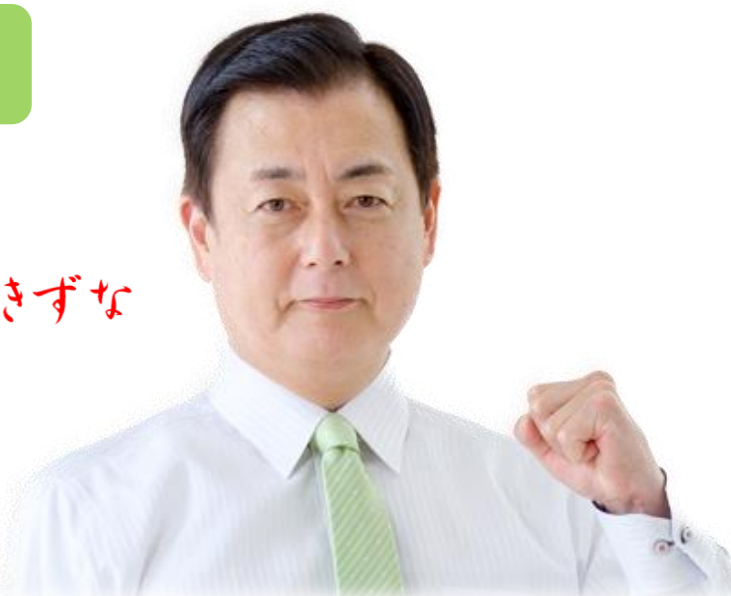
令和6年 夏 第49号

市内全戸配布版

～能美市政報告～

絆 ぎずな

能美市議会議員
たなか さくじろう
田中 策次郎



7/9 珠洲市避難所物資支援 7/12 湯野小学校福祉体験授業 7/14 第4回市内避難者パントリー 7/16 珠洲市避難所物資支援



7/15 能登の復興復興を祈念するイルミネーション点灯式での市内避難者 じんのびカフェ 7/19 三道山子ども食堂 7/20 石川県子ども食堂交流会



7/22 珠洲市避難所物資支援 7/25 珠洲市避難所炊出し 7/27 珠洲市避難所炊出し 7/29 珠洲市避難所物資支援



能登と共に！ 能登半島地震発災から市内団体が連携し、能登の避難所への物資支援を32回・炊出した18回あわせて50回続けています。その他、市内避難者へのカフェや食品パントリーの支援も行っています。





5/2p 宮竹小学校福祉体験授業 5/20 三道山子ども食堂応援弁当 5/21 珠州市避難所物資支援 5/31 珠州市避難所物資支援



6/2 加賀地区赤十字奉仕団「能登半島地震救援」チャリティバザー 6/6 じんのびカフェフラワーアレンジメント 6/7 珠州市避難所炊出し



6/9 加賀地区市議会議長OB会 6/10 珠州市避難所物資支援 6/11 加賀地区バザー売上金寄贈



6/12 粟生小学校福祉体験授業 6/16 市内避難者パントリー 6/19 珠州市避難所物資支援 6/20 男女共同参画週間



6/21 三道山子ども食堂 6/24 絵付け体験 6/25 能美市PR動画撮影の能美市観光大使の吉野悠我さん柳沢三千代さん福島武山工房体験 7/3 珠州市避難所物資支援



6/27 辰口中央小学校福祉体験授業 6/29 地域共生交流館まつり 6/30 九谷町役員会防災講演 7/3 珠州市避難所物資支援



7/5 珠州市議会川端副議長新任挨拶来庁 7/6 三道山子ども食堂 7/7 能美市民スポーツ大会 トランポリン競技 優勝者 7/8 福岡小学校福祉体験授業

●災害備蓄について

令和6年能登半島地震の被災地へ能美市から多くの災害備蓄物資を支援しました。災害備蓄品は年々進化をしています。被災地の避難所の方から、使い勝手のいい物資や不慣れた物資の実体験を教えてくださいました。備蓄食料に関しても、発災直後の必要な食品の種類や扱い方も含め考える必要を感じました。不足した災害備蓄物資を補充する際、今回の能登半島地震の被災地状況をふまえ、どのような工夫と改善を行ったのか。また、今後は市としてどのような災害備蓄物資を補充する計画があるのか。

答 井出 敏朗 市長

●再調達に当たっては、避難所運営に携わった職員の意見を反映させ、段ボールベッドは利用者の転落防止規格へサイズアップ、パーティションは、天井つきの遮音性に優れ組み立てやすい形式を選定した。●被災地において長期間にわたり上下水道が使えない深刻な状況下で、水洗トイレが使えない、哺乳瓶が清潔に洗えない等の声が多く届いていたことから、市の備蓄計画の見直しを進める中で、先行して簡易トイレ袋及び使い捨て哺乳瓶を緊急整備することとし、購入費を6月補正予算に計上。備蓄数量については、市内における自立的な供給体制をめどに、従来の3日分から7日分に拡充を行う。今後も、令和4年8月大雨や令和6年能登半島地震での事態を踏まえ、災害備蓄品を整備していく。

●生理の貧困、生理の尊厳について

金銭的理由で生理用品を使用できなかったり、適切な方法で使用できなかったりする生理の貧困について、令和3年6月議会で質問を行った。当時の答弁では、防災備蓄品の生理用品を活用し、**応急的に窓口で無償配布**するとして、生理の貧困に対して一歩進んだと感じているが、**現在の配布状況はどのようになっているのか、備蓄品の利活用ではなく通常の予算となっているのか？生理用品を受け取りやすい環境になっているのか？** 前回の調査と同じく、私が携わっている団体による市内の調査では、過去1年間に経済的な理由で生理用品を「買うのに苦労したことがある」と答えた人は41%「生理用品を交換する頻度を減らしたことがある」人が45%「トイレットペーパーなどで代用したことがある」と答えた人が28%と、物価高騰の影響か、前回の数値より悪化している状況です。生理用品が十分に手に入らない人を支援しようと、県内各自治体でも生理用品をトイレに配置する無償配布が始まっています。**市での生理の貧困に対する取組・予算、生理用品を受け取る環境について、現在の状況と今後の方針、取組について問う。**

答 米脇 守 企画振興部長

●本市では令和3年6月から、希望する方に対し生理用品の配布をいきいき共生課及びくらしサポートセンターのみにおいて行っている。市ホームページやSNS、公共施設の女子トイレ等にチラシを掲示するなどの周知を行っており、**本年5月末現在で延べ184人が利用されている。** 生理用品は、**防災備蓄品を活用し、不足した場合は男女共同参画推進事業の予算で購入している。** 利用者数の推移は、令和3年度は延べ101人、令和4年度は延べ45人、令和5年度は延べ31人と年々利用者が減少してきておりますが、現在も一定数の希望される方がおいでますので、今後もこの事業を継続するとともに、お困り、お悩みの方に役立ててもらえるよう周知にも努めたい。

再質問 各経年の推移を聞き、減っている数字を見ると事業改善をすべきと考える。この減っている数字を勘案し、今後は受け取りやすさを考えていく必要があり、改善を求める。

●男女共同参画社会に向けての市民アンケートについて

令和2年度に策定された第2次能美市男女共同参画プランの進捗確認と市民の男女共同参画意識の実態把握をするため、今年度に市民アンケートが予定されている。前回アンケートを行った平成31年から男女共同参画社会の意識や社会情勢も大きく変わっており。経年変化を調査するとともに、昨今議論がなされている選択的夫婦別姓制度やパートナーシップ制度に対して市民の意識調査も、将来に向けて併せて行うことが必要と考える。**本年度行われる男女共同参画社会に向けての市民アンケートに選択的夫婦別姓制度やパートナーシップ制度の設問を追加し、市民意識の調査をできないか、**

答 米脇 守 企画振興部長

●国内の動向として、社会的な意識の変化や女性の社会進出などの背景から、選択的夫婦別姓制度の導入を求める声が高まっている。またパートナーシップ制度についても性の多様性に関する議論が深まっていることから**選択的夫婦別姓制度やパートナーシップ制度に関する市民の意識調査の観点から設問を追加すべきである**と、市男女共同参画推進委員会から意見を受けている。今後の男女共同参画プランの改定に当たり、社会情勢の変化に伴う新たな市民の意向を把握するため、**アンケートの内容の詳細について検討していく**（一般質問Q R）



ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆
ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議会議員 田中 策次郎
〒923-1124 石川県能美市三道山町チ16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net http://3926jp.net

田中策次郎ホームページ QRコード
田中策次郎FBページ QRコード
田中策次郎ホームページ facebookページ

議会 YouTube 配信 QRコード
意見交換会や
本会議の中継を
発信しています